

JAMSTECのデータ管理体制

- 専門部署の存在
 - 地球情報基盤センターが**データセンター**として機能
 - 研究者の片手間の努力ではできない体系的な管理サービスを提供
- 専門スタッフの存在
 - **現場観測の経験**のあるスタッフ + 観測支援会社からの技術員
 - サンプル管理の**キュレーター**
 - **ITスキル**を持ったスタッフ + 技術者
- 他部署との連携
 - 船舶運航部門、知財管理部門、国際関係部門、研究支援部門等

航海データの公開までの流れ

準備

観測航海

公開猶予期間

猶予期間後

収集

調査・観測

収集

保管

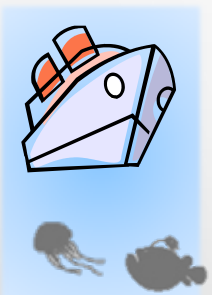
品質管理

公開準備
(DBへ登録)

公開



航海情報
課題情報
制約条件

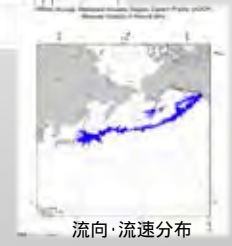


メタデータ、データ、サンプル
30種以上の観測データ(サンプル含)

二次利用へ



航海後2年



データ管理の実際

- 収集

- 航海情報の**事前収集**(調査内容、期間、海域等)
- EEZ・保護区での調査申請、共同研究契約による**制約条件の有無**を確認
- メタデータ・データの収集(船舶運航会社、研究者)

- 保管

- データのバックアップ、遠隔地との二重化等による**セキュアなアーカイブ**
- サンプルの保管(岩石:横須賀本部、堆積物コア:高知コア研究所、生物サンプル:研究者)

- 品質管理

- メタデータ・観測データの品質管理(常時観測する測器について**ルーチン的に実施**)
- 画像・映像のインデキシング

- 公開

- メタデータ、処理済みデータをデータベースへ登録
- 各種制約条件に基づいた**確認と公開**
- 個別申請に基づいてオフラインで提供(猶予期間内、大容量、生データ)

データ公開前の確認

- 調査申請に基づく確認

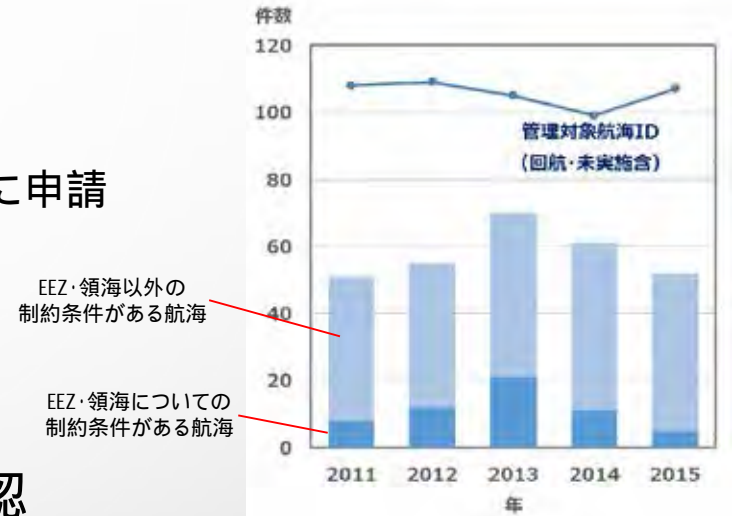
- 他国のEEZ・領海・保護区内での調査では事前に申請
- データ・サンプルの帰属、航海報告の提出、公開時の事前承認等の条件
- 申請内容と実施内容に矛盾が無いことを確認

- 共同研究契約・実施取決め等に基づく確認

- クレジットの表記、公開猶予期間、二次利用の制限等の条件
- 契約等に沿った公開処理

- 国の安全に関する取扱い

- JAMSTECの判断で非公開とする場合も



航海の全体数と確認が必要な航海数

